

だい ぶ か だい  
第 6 部 課題

ようし たいかいとうじつしよう かなら  
この用紙は、大会当日使用しますので、必ずご  
じさん  
持参ください。

だい かい  
第 16 回  
まいにち にゅうりよく  
毎日パソコン入力コンクール  
とう き たいかい  
冬季大会  
か だい  
【課題】  
だい ぶ わぶん  
第 6 部 和文 B  
しんがくしゅうしどうようりょう しょうかふりょうお  
新学習指導要領 消化不良起こさぬよう  
せいげんじかん ふん  
制限時間 5 分

とうじつ ちゅういじこう  
【コンクール当日の注意事項】

1. この用紙を拡大・修飾などして、当日使用しても問題ありません。
2. 団体責任者の指示にしたがい、18桁の参加番号を半角数字で入力してください。
3. 課題の入力はすべて全角文字でおこなってください。スペースと改行も字数に数えます。ただし最終行はのぞきます。

※この課題は、平成28年8月2日、4月29日付 毎日新聞社説・余録より引用しました。（文字数1,750字程度）

かだいぶんしょう きんそくもじ  
〈課題文章の禁則文字について〉

まいにち にゅうりよく いんよう ぶんしょう げんぶん と こ  
毎日パソコン入力コンクールでは、引用した文章を原文のままソフトに取り込んでいる  
ため、行頭、行末に禁則文字が来る場合があります。課題文章のPDFファイルどおり  
にゅうりよく せいがい  
に入力すると正解になります。

しゅさい  
主催

まいにちしんぶんしゃ  
毎日新聞社

いっぽんしゃだんほうじん  
一般社団法人

にほん のうりよくけんていいんかい  
日本パソコン能力検定委員会

こうえん  
後援

そうむしょう  
総務省

もんぶかがくしょう  
文部科学省

こうせいろうどうしょう  
厚生労働省

けいざいさんぎょうしょう  
経済産業省

ほか

ぎょう じづめ ぶんしょう にゅうりょく  
1行35字詰で、つぎの文章を入力してください。

※  の箇所かしよ かいぎょうで改行 (Enter) してください。

しゃせつ しんがくしゅうし どうようりょう しょうか ふりょうお  
社説：新学習指導要領 消化不良起こさぬよう   
ほぼ10年おきに行われる小中高校の学習指導要領改定の作業が進められて  
いる。2020年度の小学校から中高と年を追って新要領になる。   
もんぶ かがくしょう さくじつしめ ちゅうかんでき しんぎ  
文部科学省が昨日示した中間的な審議のまとめによると、小学校5、6年生  
で英語を正式に教科にし、高校では国語、地理歴史などで総合的な新科目を創  
設する。 

きゅうそく か じだいじょうきょう おう なに おし  
急速なグローバル化など時代状況に応じて「何を教えるか」だけではなく、  
「どう教えるか」も強調したのが特徴だ。児童生徒が主体的に多様な意見を交  
わしながら課題を見だし、解決するような「アクティブ・ラーニング」であ  
る。 

おお へんか がおうげんば とまど すく じょうい か たつ し  
大きな変化といえよう。学校現場には戸惑いが少なくない。上意下達のお仕  
着せで消化不良にならない共通認識作りや環境整備が必要だ。 

08、09年に改定された今の指導要領の主眼は「脱ゆとり」であり、減ら  
されていた学習項目や授業時間を復活させた。 

こんかい うえ しょうがっこう しゅう じかん たんい じかん ぶん  
今回はその上に、小学校では週1時間（単位時間45分）である5、6年生  
の「外国語活動」が英語教科化で2時間になることなどにより、年間総計で1  
40時間増える。 

これをどうひねり出すか。 

しんぎ じぎょう ぶん ぶんかつ どうようび かつよう  
審議まとめは、授業を15分に3分割したり、土曜日を活用したりするなど  
、「効果的な創意工夫を」と提起する。しかし多くの学校は現行指導要領で時  
間割はいっぱいである。どう折り合いをつけるか。丸投げというわけにはいか  
ない。 

また、各校に中心的教員を置くなどする、英語教育の専門的な人材確保の見  
通しも不透明だ。 

こうこう だいがくきょういく せつぞく にゅうし かいかく たいおう か もく おおはば さいへん にほんし  
高校は大学教育との接続や入試改革に対応して科目を大幅に再編、日本史・  
せかいし あ きんげんだいし まな れきし そうごう しゃかいけいせい しゅたいせい そだ  
世界史を合わせ近現代史を学ぶ「歴史総合」や、社会形成の主体性を育てる「  
公共」などを設ける。 

こうこう れきし そうごう こうきょう せかい しゃかい じしやう ふか  
高校の「歴史総合」も「公共」も世界や社会の事象に深くかかわることだけ  
に、これまでにない準備や情報交換なども必要だろう。 

かいかく きょうつう にんしき も せいひ きょうか おうだんてき そう  
改革は共通の認識が持てるかが成否のカギになる。かつて教科横断的な「総  
ごうてき がくしゅう じかん どうにゅう さいげん ば じゅうぶん きょうつうりかい え  
合的な学習の時間」を導入するに際し、現場に十分な共通理解が得られず、一  
ぶ けいがい か じゅけんべんきょう てんよう れい  
部で形骸化し、受験勉強に転用された例もあった。 

指導要領が「ゆとり」から転換する時も、なぜ「ゆとり」が十分な成果と支持を得なかったか、本格的な検証はなされていない。◀

今回示された改革の方向は、新たな可能性は持っている。しかし多忙な現場の実情などに照らし、一方的な導入にならぬ入念な工夫がいる。◀

文科省はこの改定で「学校の中に閉じない、社会につながる教育課程を」と意気込むが、現場に立脚した視点がまず肝要である。◀

毎日新聞 2016年8月2日 ▶

余録：「失敗する可能性があるものは、失敗する」…▶

「失敗する可能性があるものは、失敗する」というマーフィーの法則には小欄も何度もお世話になった。生まれたのは米空軍基地で、航空機の技術者らの間で「法則」として広まったといわれている▲マーフィーとは空軍大尉の名で、1949年に同基地で機器の配線間違いを見つけた。その時にぼやいた言葉、それが「失敗するやり方があるならば、誰かがそれをやる」だった。この言葉がさまざまなバリエーションと共に広がったのは技術者の実感だったからだ▲そのなかには「ものが壊れる確率は、その価格に比例する」というのもある。なかなかつらい話だが、日本が費やした開発費が310億円というX線天文衛星「ひとみ」だった。その破損の実態が明らかになり、復旧は不可能と判定されて運用を諦めることになった▲先月から通信が途絶し、米機関の観測では10個以上の部分に分解していた「ひとみ」である。当初は何かと衝突したのかと疑われたが、分析の結果は違った。姿勢制御系のソフトの不具合や指令のミスなどが重なり、異常な回転によって分解したことが判明したのだ▲「連続した何かがおかしくなると、最悪の過程をたどりながらおかしくなる」もマーフィーの法則の変化形という。宇宙の謎の解明に挑んだ「ひとみ」だったが、悲しいかな裏付けられたのは先の「法則」だった。ならば原因の深層まで究明してもらわねばならない▲開発の当事者には「どうでもいいから保育園作れよ」の声が耳に痛い成り行きとなった。だが、ここは世の納得がいくまで失敗を検証し、子どもらと共に見られる宇宙への夢を再興してほしい。▶

毎日新聞 2016年4月29日 ▶